

Omura JC



社団法人 大村青年会議所
入会の案内!



社団法人
大村青年会議所

大村青年会議所って？

Q：活動の目的は？

A：簡単に言うと「明るい豊かなまちづくり」に貢献することです。その結果としてメンバーが一致団結し、我々の街が良くなっていくと共に、青年会議所の三信条である、奉仕・修練・友情の精神がメンバー間で養われます。また対外事業も多いので、そこでの貴重な経験や出会いがいろんな意味で役に立ち、また支えとなります。

Q：月に何回くらいあつまるのですか？

A：定例会が1回、委員会が2回。これが基本になります。
各委員会によっては、担当事業が近づいてくると当然それを成功させるために集まる回数は多くなることもあります。

Q：女性の会員はいらっしゃいますか？

A：はい、います。全国的には割合的に約3%ぐらいですが、大村JCには現在3名(6%)の女性会員が明るく女性的な感性を持って活動しています。
最近では多くの女性の方からの問い合わせが多くなっています。

Q：例会って何をするとところですか？

A：主に会員相互の情報交換と親睦を図る企画をしています。また、ときには外部より講師を招いた研修なども行います。

Q：JCに入会するとどんなメリットがありますか？

A：[自己鍛錬の場として]

大勢の人の前で話をしたり、発表する場が多いので、自然に話し方がうまくなり表現力が豊富になります。

[なかまづくり・人脈づくりの場として]

活動に積極的に参加することによって、大村のメンバーは勿論のこと、県内・九州・日本国内や世界各地に多くの仲間を作ることが出来ます。そしてところを許し、腹を割って話が出来る親友を得ることも出来ます。

[経営者・ビジネスマンとして]

地域社会への奉仕活動を通じて、指導力が身につきます。JCで学んだ指導力は、ビジネスにおいても素晴らしい効果を発揮することでしょうし、家庭や企業・地域社会においても大いに役立つでしょう。様々な職業・立場の人達と話をすることによって、新しい自分を発見することもでき、活動に参加することによって、貴重なヒントを得ることができ将来の方向を見出すことも可能です。

大村青年会議所 現役会員の声

● 2009年度「大村JC魅力発掘アンケート」のアンケートより

JCに入会して良かったと思ったこと。

- 自分自身のスキルアップにつながったと思った。
- 友達作り(人付き合い)や自分からの行動が下手だったが、皆で活動して自分の意見や行動に自信がもてるようになりました。
- 友情ということを知り、地域に貢献するという事がプラスになった

JCに入会して仕事面(事業所内外や営業、業務面等)でプラスになった事。

- 自分の職種と違う段取りや経営面など勉強になった。
- 現役メンバーからあるいは現役メンバーの紹介で仕事を頂いている。
- 良く考えながら行動するようになった効率が上がった。
- 時間の使い方や色々な方と話せるようになった。

JCに入会して個人的(プライベート)でプラスになった事。

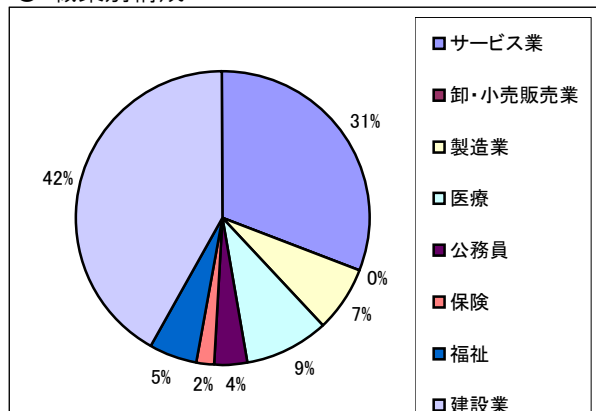
- 経営や人生の相談をする相手ができる。
- 出会いがあるので、影響を受け勉強になる。自らも意識向上になる。知り合いができ幅広い見解がきずける。
- 人と人との付き合い、お互いに協力し、成し遂げることの喜び等大変勉強になります。

JCに魅力を感じていること。

- 一つの事業を達成した時に喜びを皆で分かち合えた時など
- 社会人として仕事の面でも違ったアプローチでの考え方を聞く事で色々な問題に取り組むことができるようになった。
- いろんなことにチャレンジできるところ。
- JCすべてが魅力だと思います。入会して共に活動・運動できることがJCの魅力です。

大村青年会議所の会員の構成

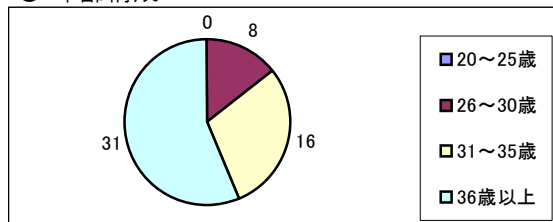
● 職業別構成



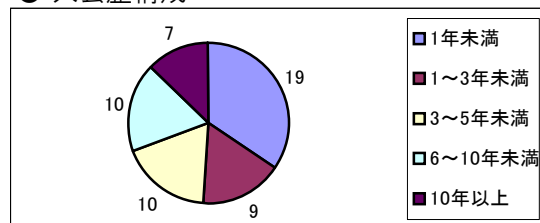
● 正会員数 55名(H21・3・1現在)

● OB会員数 201名(H21・3・1現在)

● 年齢構成



● 入会歴構成



青年会議所の活動

まちを生き活きとさせる運動

- 自分たちのまちを知り、紹介する運動や祭やイベントへの協力、他団体との交流。



おおむら夏越まつり参画

地域の将来像の研究や提言

- まちの将来ビジョンの研究や、全国のまちづくり情報の収集や提供。



未来のおおむらを創る まちづくりフォーラム
大村市長マニフェスト検証

子どもたちの健全教育を目指す運動

- 体験型野外活動の実施や子どもたちとの交流事業。
- わんぱく相撲などのスポーツ振興。



100キロ チャリソン
親子愛推進事業



わんぱく相撲大村場所
青少年健全育成事業

会員自身の研修

- 市民として、企業人としての自己研鑽。
- リーダーシップトレーニングや各種セミナー開催
- 異業種の交流



会員研修事業



新入会員セミナー

会員間交流

- 市民団体として、スポーツ振興
- 県内の青年会議所でのスポーツ大会参加・友情交流
- 青年会議所OBや友好JC・姉妹JCとの親睦
- 会員の家族同士の交流



市民サッカー大会



家族感謝祭



現役会員とOBとの交流



長崎ブロック大会



九州地区大会



全国大会



友好JC 鹿島JCとの交流



姉妹JC 伊丹JCとの交流

青年会議所とは

1915年、アメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた、小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

そして日本では、1949年戦後の荒廃した中に生まれた、『明るい豊かなまちづくり』の実現を同じ理想とし、次代のリーダーとなる責任感を持った20歳から40歳までの青年経済人の団体です。その目的は、自己の属する地域社会を明るく住み良くする事を起点として、社会をリードするにふさわしい人を育成し、最終的には日本の福祉国家への発展と世界の繁栄と平和に寄与することです。

50余年の歴史を持つ日本の青年会議所の運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在750余の都市に約4万3千人の会員を擁し、全国的運動の総合調整機関として、日本青年会議所が東京にあります。又国際青年会議所は110カ国に95国家青年会議所を数え、約26万人が国際的な連帯を持って活動しています。

青年会議所運動とは「指導力開発と社会開発」であり、日常の活動の場を通して我々個人個人をよりよく開発し「明るい豊かな社会」を創り出す為の原動力として、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所なのです。

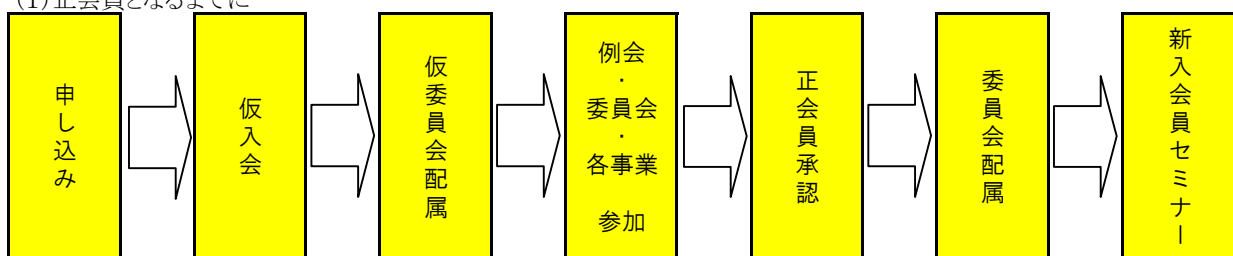
その行動理念と目的を明確に表現しているものとして、創立以来より変わらない青年会議所の3信条「奉仕・修練・友情」があります。

入会基準

- 大村市を中心とした地域に居住又は勤務する人
- 正常な事業に従事している人
- 健全な社会人としての良識と教養を有する人
- 本会議所の諸行事に積極的に参加する意志と能力を有する人
- 会費その他の負担金を遅滞なく納入する意志と能力を有する人
- 企業の責任者ではない場合は、上司の承諾を得ている人
- 20歳から40歳までの年齢の人

入会までの手順

(1) 正会員となるまでに



(2) 仮入会

- 2月から10月までの7ヶ月の内2ヶ月間
- 仮入会期間中は委員会に仮配属し、身近に青年会議所活動を体験する
- 仮入会員の会費(2009年度)
月額……10,000円

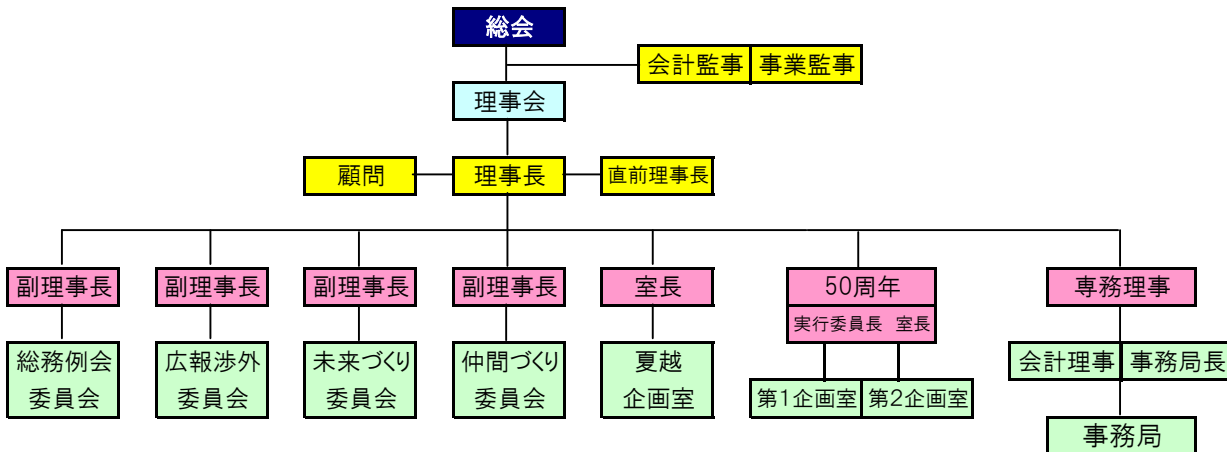
(3) 入会金及び会費(2009年度)

- 入会金……20,000円
- 年会費……120,000円(月額10,000円)

(4) 新入会員セミナー

- 青年会議所の起りや、現在に至るまでの歴史や青年会議所の理念を理解していただく。
- 本年度の活動内容を知っていただく。

2009年度の組織図



各委員会活動について

- 【総務例会委員会】 主に定例会議の企画運営を行う委員会です。
定例会議を通して各委員会の活動状況や学びの場を企画運営し、個々の能力のスキルアップをめざして活動に邁進して行きたいと考えております。
- 【広報渉外委員会】 会全体の広報活動を行う委員会です。
2009年のあらたな活動を伝えるという重要なポストであり、大村青年会議所の活動をもっと多くの人々に興味をもって頂けるように活動していきたいと考えております。
- 【未来づくり委員会】 地域愛を育む青少年活動を行う委員会です。
人と地域との触れ合いを通して、子どもたちが有するさまざまな「力」を引き出し、相手を知り、相手を想う心を育み、また地域を知り、地域を愛する気持ちを育てる活動を行っていきます。
- 【仲間づくり委員会】 会員の勧誘や交流を企画する委員会です。
率先して会員の拡大活動を行い、新たな仲間との交流や触れ合い、そして仲間同士の友情・絆を深められるよう親睦を図る活動を行って参ります。
- 【夏越企画室】 おおむら夏越まつり参画への企画を行う委員会です。
夏越の歴史を振り返り、夏越の精神を理解し、夏越まつりへ参加する楽しみや喜びを伝えていきます。
- 【50周年第1・2企画室】 大村青年会議所50周年事業の企画・運営を行う委員会です。
両事務局は50周年の運営、事業の計画において常に率先して行動し、又、会議所全体のサポーターでありたいと考えております。

大村青年会議所の歴史

昭和27年	商業振興会結成	平成9年	日本海重油流出災害ボランティア参加 経営セミナー(パソコンセミナー)開催
昭和31年	3月1日 大村青年会議所創立	平成10年	親子ふれあい登山開催 ニューメディアセミナー開催
昭和34年	10月5日 日本青年会議所認証 第174号 大村青年会議所発足(会員25名)	平成11年	創立40周年 大村よかとこ夢自慢 森園公園に陶板プレートを寄贈
昭和44年	創立10周年 大村公園内噴水を市へ寄贈 パンパン祭開催	平成12年	エコフェスティバル開催
昭和51年	社団法人化(会員70名) 観光ガイドマップ作成	平成13年	子どもたちのための地域連帯推進事業 ”求められる地域の目”の開催 長崎ブロック野球大会を大村にて開催
昭和53年	伊丹青年会議所と姉妹JCを締結 創立20周年	平成14年	韓国・仁川JCとの交流 大村公園で親子ウォークラリー開催
昭和54年	大村公園内藤棚を市へ寄贈 市民の夕べ開催 市民オリエンテーリング開催 市民一坪農園開催	平成15年	長与せんさい絵本製作 長崎ブロック大会を大村にて開催(主管)
昭和55年	第1回おおむら夏越まつり開催	平成16年	創立45周年 45周年記念事業『スローライフinのだけ』開催
昭和61年	長崎県地域文化賞受賞 創立30周年	平成17年	明日の大村新聞コンクール開催 ～こんな大村つくりたい～
平成元年	市役所前にメモリアルシンボル建立 記念誌「まちづくり白書」発刊	平成18年	公開まちづくりセミナー開催 おおむら子ども市議会 開催
平成2年	天正遣欧少年使節帰国400年祭参加	平成19年	公益法人制度改革全体会議 開催 家族愛推進事業 開催 100kmチャリソン～LOVE&NETURE～
平成3年	普賢岳災害ボランティア参加 市民ウォークラリー開催	平成20年	まちづくりフォーラムオープンセミナー 開催 マニフェスト検証事業 開催 未来のおおむらを創るまちづくりフォーラム
平成5年	第1回わんぱく相撲大村場所開催 活き活きおおむら推進会議設立	平成21年	創立50周年
平成6年	創立35周年 ”教えて君の町”ちびっ子壁新聞 開催 第1回 平成五教館塾開催		
平成7年	阪神淡路大震災ボランティア参加 伊丹市の子どもたちとふれあいキャンプ開催 九州地区大会を大村にて開催(主管)		
平成8年	おおむらよかとこフォーラム開催 語ろう！これからの大村討論会開催		



OMURA

OMURA
JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL

創 立 昭和31年3月1日
認 証 昭和34年10月5日
承認番号 第174号
事 務 局 〒856-0831 長崎県大村市東本町2-1
TEL 0957-52-6391
FAX 0957-52-2158
E-mail omurajc@octp-net.ne.jp

ホームページもご覧下さい

URL <http://www.omura-jc.jp>

大村JC

検索